工場を守る！ 金属火災用放射器

一般消火器では消せない金属火災を確実に消火。

可燃性の金属粉や金属片による金属火災は燃焼熱が高く、
金属種によっては水や消火薬剤と反応して
火災が拡大する危険性があります。
このため、金属火災は一般的な消火器では消火が不可能です。
ヤマトプロテックは永年培ってきた消火器開発の技術をベースに研究を重ね、
多様な金属火災に対応できる金属火災用放射器を開発しました。

- 薬剤を均一に放射できる特殊ノズルの採用で、素早く安全・確実な消火が可能です。
- 本体容器を黄色にすることで、一般消火器との違いを明確にするとともに、遠くからの視認性も高めます。

適応火災	
リチウム	○
ナトリウム	○
マグネシウム	○
アルミニウム	○
鉄粉	○
金属粉	○

リチウム、ナトリウム等アルカリ金属に対しても十分な消火効果を得られます。

Neo Metal Guard

YM-17X ネオメタルガード

本体価格 **44,000円**（税別）

特許登録番号（ヤマトプロテック製 放射器）
4603827・4839100

※商品を購入する際には、税込価格のほかに別途リサイクルシール代（非課税）が必要となります。

■詳細な取扱説明書をダウンロード出来ます■
http://www.yamatoprotec.co.jp/product_matrix/

※このカタログは、再生紙を使用しています。　※この商品写真は見本品です。

ヤマトプロテック株式会社

金属火災用放射器
Neo Metal Guard
YM-17X
ネオメタルガード

■使用方法

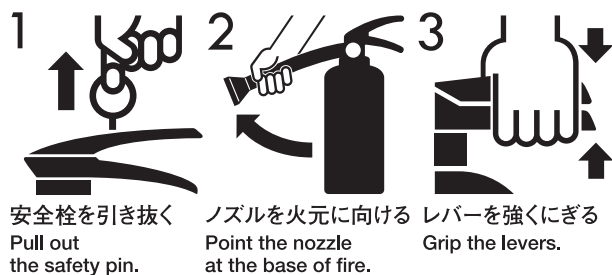
1 安全栓を引き抜く
Pull out the safety pin.

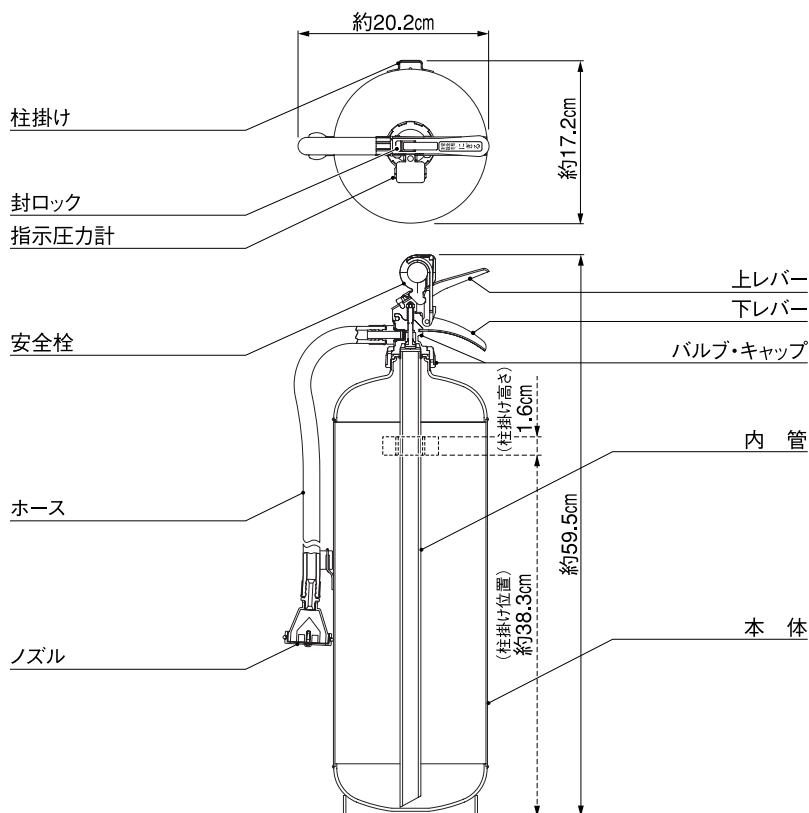
2 ノズルを火元に向ける
Point the nozzle at the base of fire.

3 レバーを強くにぎる
Grip the levers.

緑色範囲 圧力計

指示圧力計の指針が緑色範囲内〔7.0～9.8（×10^{-1}MPa）〕にあればいつでも使用可能です。

■仕 様

材質	鉄	ホース長さ	34㎝
総質量	約10.0 kg	放射時間	約40秒（20°C）
全高	約59.5㎝	放射距離	約1～3 m（20°C）
本体容器外径	16.27㎝	使用温度範囲	−30°C～＋40°C
本体容器板厚	1.6㎜	使用圧力範囲	7.0～9.8（×10^{-1}MPa）
柱掛け位置	約38.3㎝	耐圧試験圧力値	2.0 MPa
本体容器容量	8.45 L	使用薬剤	ネオメタルガード
		薬剤質量	5.0 kg

■構造図

▶放射器は目立つところに設置してください。
■試し放射はしないでください。
※掲載商品は改良などのため、予告なく仕様・規格変更を行うことがあります。ご了承ください。

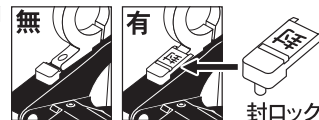
⚠注 意
リチウムイオン電池火災の消火には使用しないでください。電解液（危険物第四類）の火災となり消火効果が得られません。

放射器は圧力容器です。
【取扱説明書】をよく読んでご使用ください。

⚠危 険
■錆、傷、変形、キャップのゆるみのあるものは絶対に使用しないでください。
■分解しないでください。廃棄の際は専門業者または記載されている電話番号にお問い合せください。

⚠警 告
■腐食しやすい場所、湿気の多い場所、潮風や雨風にさらされる場所に設置しないでください。
■濡れた床や地面に直接置かないでください。
■使用温度範囲を超える場所に設置しないでください。
■人に向けて使用薬剤を放射しないでください。呼吸困難等の危害を引き起こす恐れがあります。
■使用時には火元から約1m以上離れてから放射を開始してください。近づきすぎると火傷の恐れがあります。
■避難経路を確保しながら消火してください。

⚠注 意
指示圧力計の指針が緑色範囲にあるか確認してください。緑色範囲 7.0～9.8（×10^{-1}MPa）

■この放射器は初期消火の器具です。消火範囲には限りがあります。
■試し放射はしないでください。使用できなくなります。
■一度操作したものは、新品と交換または詰替えを行ってください。
■薬剤の詰替えや再充てんにつきましては、当社のみの取扱いとなります。当社営業担当者または当社ナビダイヤル 0570-080-100
（受付時間：平日 9:00～17:00）にお問い合わせください。
■適応火災は、銘板の表示と「取扱説明書」で確認してください。対象物によって適・不適があります。
■封ロックがはずれているものは、安全栓が抜かれています。当社営業担当者または当社ナビダイヤルにお問い合わせください。

廃消火器リサイクルシステムは、使用期限をむかえた消火器を安全に回収して部品等をリサイクルする取り組みです。

2010年1月1日より廃消火器リサイクルシステムの運用が始まりました。これにより、現在使用中の放射器を廃棄する場合、リサイクルシールを購入して添付しなければなりません。システム開始後に製造する放射器は、製品出荷時にリサイクルシール付で販売します。老朽化放射器による事故の発生を防止するためにも、ご協力をお願いいたします。

●あらゆる防災設備・機器のご用命は下記へ………

ヤマトプロテック株式会社
本　社 東京都港区白金台5-17-2 ホームページ http://www.yamatoprotec.co.jp/
大阪・名古屋・札幌・仙台・さいたま・横浜・静岡・広島・四国・福岡／大阪工場・東京工場・中央研究所

※このカタログは、再生紙を使用しています。

03-735-1312.DAI